



○行政改革推進委員会が提言をまとめ森市長へ提出しました。

市民が主人公となる市政

さらなる「市民が主人公となる市政」推進の一環として新センターを設置する提言



提言をまとめた感想をお聞かせください **ひとこと**



行政改革推進委員会 山田 誠 会長

合併からわずか4年の時点で、旧4町4村の方々が長年よりどころにしてきた支所の廃止を提言することは、とても苦しいことでした。しかし、本提言の内容は、財政の健全化を目指すと同時に、住民自治を現状よりも促進する案になったと、確信しています。

ひとこと **この提言をどのように受け止められましたか**

本市が行財政改革を推進し、足腰の強い自治体として自立を図り、これを市民サービスの向上と市の発展につなげるために、今後取り組むべき重要な課題の一つである「支所の在り方」について長期間にわたり市民目線で真剣に議論していただいたことに、心から感謝申し上げます。提言の意図と内容を十分尊重しながら、新しい組織機構を多面的に検討するよう次の市長に引き継ぎます。



森 卓朗 市長

提言の詳細やこれまでの審議内容については市ホームページをご覧ください。

http://www.city.satsumasendai.lg.jp/
 トップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 市政改革(行財政改革) ⇒ 行政改革推進委員会

【問合せ先】本庁行政改革推進課 行政改革グループ(内線 4131)

提言の意図

この提言の一番の目的は、現支所のサービスや機能をより狭い地区単位で提供することではありません。合併前に築かれていた地域への愛着をいっそう強化し、住民自治を発展させ、地域を活性化するために、より住民に近い場所で行政としての新しい機能・サービスをつくり出すことが最大の目的です。

「センター」に配置される職員には、地区の発案・アイデアを積極的に発掘して政策の形に整理し、これを市役所本庁につなげたり、市や政府などが打ち出す政策情報を入手して地区振興に生かしたり、地区の情報を発信したりする能力と誠実さが求められます。

今後の取り組みについて

市では、この提言を尊重し、「合併してよかった」と実感できる見直しになるよう、具体的な内容や実施時期、経過措置など細部の検討を行います。その過程においては、議会や地区コミュニティ協議会・市民の皆さまの意見も踏まえ、この見直しにより真に「市民が主人公となる市政」を実現する仕組みができるよう努めます。

また、職員の意識改革を図るとともに、市民が本格的に参画できる広報紙作りに取り組み、市と市民が豊かに情報を交換・共有できるシステムを作っていきます。

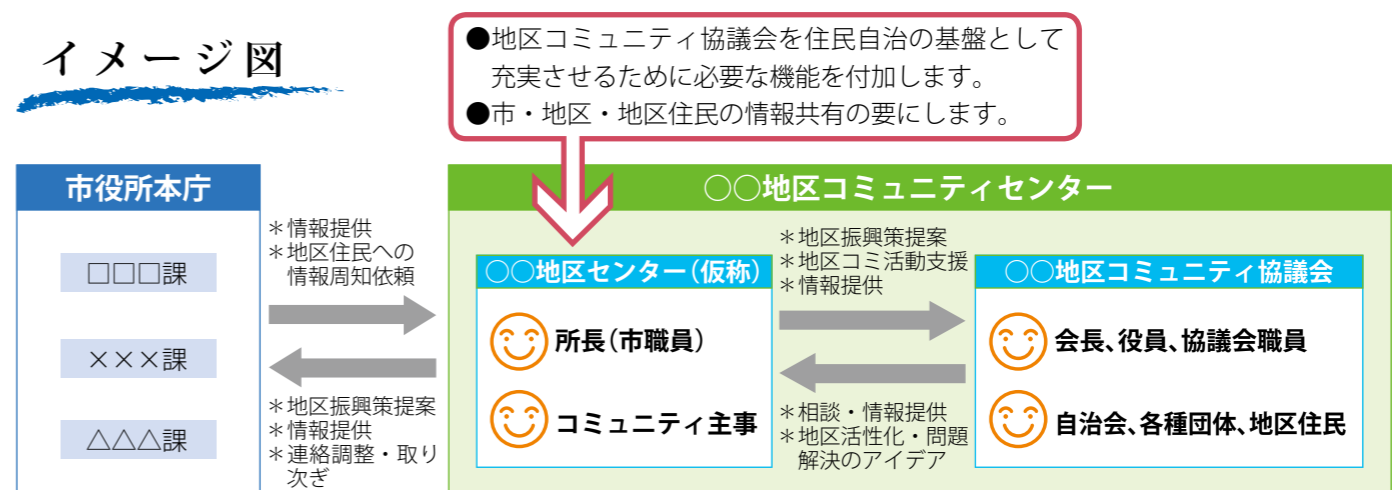
市民目線で「今後の支所の在り方」を検討してきた行政改革推進委員会は、昨年5月からこれまで、16回の審議を重ね、「市民が主人公となる市政」のありさまを大きく左右する重要事項であるこの問題を慎重に審議してきました。

3月の中間報告を経て、委員会としての意見を集約して提言がまとめられ、去る8月8日に森卓朗市長に提出されました。そのあらましは、下記のとおりです。

提言のあらまし

- 現行の支所を一律に廃止し、市内全域の各地区コミュニティ協議会ごとに、市職員が勤務する「センター(仮称)」を設置する。
- 地理的条件など、客観的な理由が明白な所には、必要な部署を新たに作る。
- 見直し実施に当たっては、一定期間は現場事情に応じた経過措置を講じる。

イメージ図



- 客観的な理由が明白な所には、必要な部署を新設します。
- 少人数の地区のセンターでは対応できない専門的なサービスを提供します。

*「センター」に配置される職員の数やその職務などの具体的な内容は、今後検討していきます。